

安全にお使いいただくために

●必ずご使用前に本紙をよく読み、保管してください。●仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●本製品の誤った取扱いや改造した場合での事故について、当社はその責任を一切負いません。

事故が起きた際は…

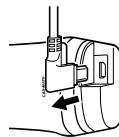
事故発生時に記録された映像データが上書きされないように、下記のいずれかの手順を行うことをおすすめします。

△注意 ◎安全な場所に移動し、エンジンを停止してから行ってください。

●カメラ本体から電源ケーブルを取り外す

事故発生時のデータが上書きされないようにカメラ本体の電源を切ります。

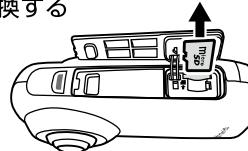
※電源を切った後は録画されません。



●メモリーカードを交換する

万が一に備えて予備のメモリーカードを常備しておくことをおすすめします。

※取出したメモリーカードは取扱いにご注意ください。



本書の注意事項は、そのレベル、内容ごとにマークを設けています。各々の定義(意味)を充分に理解された上で、お取扱いください。

! 誤った取扱いをすると、死亡や重症などを負う可能性が想定されるもの

! 誤った取扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されるもの

! 誤った取扱いをすると、法律違反となる可能性が想定されるもの

! 取扱いにおいて知っていると有益な情報

安全上お守りいただきたいこと

! 破損や故障など、異常な状態のまま使用しないこと。発煙、異音、異臭などが発生した場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災の原因となります。

! 走行前に取付状態を確認すること。脱落、落下などにより、ケガや事故の原因となります。

! 動作確認のための急発進や急ブレーキは行わないこと。ケガや事故の原因となります。

! 病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないこと。ペースメーカーや医療用電気機器などの誤作動の原因となるおそれがあります。

! 電源コードや各端子部のはこりや汚れはよく拭いて取り除いてください。接触不良などによる感電や火災の原因となります。

! 長時間使用しない場合は電源ケーブルをカメラ本体から外してください。車両バッテリーの放電や火災が起きるおそれがあります。

! 本製品は防じん、防滴、防水仕様ではありません。水をかける、濡れた手で操作する、異物を入れるなどの行為は行わないでください。感電や火災、故障の原因となります。

! 本製品は、以下の機器と同じ周波数帯(2.4GHz帯)を使用しています。

- ① 電子レンジなどの産業・科学・医療用機器など
- ② 工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)
- ③ 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)

本製品を使用する際には、上記の機器や無線局と電波干渉するおそれがあるため、以下の事項に注意してください。

1. 本製品を使用する前に、近くで上記の①～③の製品が運用されていないことを確認してください。

2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局(②)に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品を停止させてください。

! 本製品内に結露が生じた場合は、使用しないでください。特に低温から高温に移動したときに、結露が発生しやすくなり、故障や発熱の原因となります。

! 本製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。

! 磁石などの磁気を帯びたものを本製品の近くに置かないでください。故障やデータ損傷の原因となります。

! 本製品の穴やすき間にピンや針金などの金属を入れないでください。感電や故障の原因となります。

! 運転者は走行中に操作および注視をしないこと。法律で禁止されています。また事故の原因となりますので、絶対に行わないでください。

! 本製品は日本、アメリカ、香港でのみ使用が認められています。それ以外の国や地域では法律に抵触するおそれがありますので使用しないでください。
This product is for use only in Japan, USA, and Hong Kong.

! 分解や修理、改造は行わないこと。感電や火災、故障の原因となります。

! 本製品に貼付けてある技術適合証明ラベルをはがさないこと。ラベルのない製品を使用することは、法律で禁止されています。

取付けについて

! エアバッグの動作を妨げる場所には取付けや配線を行わないこと。動作したエアバッグによる事故やケガ、またはエアバッグが正常に動作しない場合があります。

! 取付けは、別紙の取付けガイドに従って正しく行うこと。また、走行時や検査時にはカメラ本体をマウントから取外さないでください。誤った取付けは道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。また事故の原因となります。

! ラジオやカーナビなど、他の電化製品と電波干渉する場合があります。電波干渉した場合はカメラ位置や電源ケーブルの配線の取回しを変更してください。

録画について

! 記録した映像やデータは、使用方法によっては他人の法的な権利を侵害する可能性があります。

本製品で記録した映像やデータの内容、それによって起因した事項については、当社は一切責任を負いません。

! 本製品は事故の証拠としての効力およびナンバー・車種・色などの特定を保証するものではありません。

! 本製品はすべての状況下における録画を保証するものではありません。

また、本製品の使用や故障によって生じた損失、および記録された映像やデータの損傷などによる損害については、当社はその責任を一切負いません。あらかじめご了承ください。

! 録画性能や記録時間などは被写体や周辺環境などに影響され、変動する場合があります。

駐車監視モードについて

! 駐車監視モードは、必ず駐車監視オプションを使用してください。他のコードなどで電源に直接配線すると、車両のバッテリー上がりや故障の原因となります。絶対にお止めください。

! 駐車監視モードによる車両のバッテリー上がりに関して、当社はその責任を一切負いません。

電源について

! 電源ソケットは単独で使用してください。タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。

! 電源ケーブルを外す際は、必ずコネクタ部分を持って行ってください。電源ケーブルが損傷すると、感電および火災の原因となります。

! DC12V / 24Vマイナスアース車以外では使用しないでください。故障の原因となります。

! 本製品に備わっている4つのモードは、電源供給源を認識することで切り替わります。そのため、市販のUSBケーブルやUSB電源ソケットを使用すると動作しない場合があります。必ず本製品の付属品またはオプション品を使用してください。

! 輸入車など一部の車両では、エンジンを停止してもカーソケットに常に電源が供給されるものがあります。その場合は、降車時に電源ケーブルを抜いてください。

! 本体の電源をONにしてから、録画の開始まで最大約15秒かかります。(ただしカメラ本体が動作温度範囲を超えている場合、さらに時間を要します。)

! 一部のアイドリングストップ車では、再始動時の電源を確保するため供給電圧が低下することがあります。これにより本製品への電源供給が停止する場合があります。

カメラについて

- ⚠ ダッシュボードなど温度が急激に上昇する場所に放置しないでください。変形および火災の原因となります。
- ⚠ 長時間の使用によりカメラ本体が高温になった場合は、直接手で触れないでください。やけどの原因となります。
- ⚠ 清掃の際、研磨剤入り洗剤、アルコール、有機溶剤入りの洗浄液を使用しないでください。
- ⚠ レンズに直射日光を長時間当てないでください。故障の原因となります。
- ⚠ 本製品は電子部品の特性上、使用条件によりカメラの表面および内部温度が高くなる場合があります。
動作温度範囲を超えた場合、製品保護のため動作を停止します。動作が停止した場合は、カメラの温度を下げてから使用を再開してください。
- ⚠ レンズ表面に泥や砂、指紋などの汚れが付着したときは、付属のレンズクロスまたは、繊維くずの出ない乾いたきれいな布で拭取ってください。

メモリーカードについて

- ⚠ 本製品には、専用のメモリーカード(DC3/4/5)を使用してください。専用のメモリーカード以外を使用すると、データの損失や記録できない場合があります。
- ⚠ 長時間の使用によりメモリーカードが高温になった場合は、直接手で触れないでください。やけどの原因となります。
- ⚠ 油がついた手や濡れた手でメモリーカードを触らないでください。損傷、故障の原因となります。
- ⚠ データのバックアップ、フォーマット、システムリセットおよび動作中は、絶対にメモリーカードを取出さないでください。データやメモリーカードが損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
- ⚠ メモリーカードを落としたり強い衝撃を与えないでください。破損およびデータが損失するおそれがあります。
- ⚠ スロット内に異物を入れたり、端子部分を手で触らないでください。破損、誤動作、故障の原因となります。
- ⚠ メモリーカードを挿入するときは、必ず正しい向きでカチッと音がするまで差込んでください。無理に挿入するとメモリーカードを破損させる原因となります。
- ⚠ カメラ本体のアップデート中に本体の電源をOFFにしたり、電源ケーブルやバッテリー(別売)を外したりしないでください。故障の原因となります。
- ⚠ メモリーカードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。1日2時間程度使用する場合で約1年半を目安に交換することをお勧めします。
また、使用状況や使用環境により寿命は変化します。
- ⚠ 以下の場合、メモリーカードをカメラ本体でフォーマットしてください。
 - 新規購入したメモリーカードを使うとき
 - 他のカメラやパソコンなどでフォーマットしたとき
 - 書き込み／読み取り速度が遅くなったと感じたとき
 - カード内のデータを全て消去したいとき
 - カメラから「フォーマットしてください」と音声が流れたとき
- ⚠ メモリーカードは消耗品です。一定使用期間(回数)が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができなくなることがあります。
- ⚠ 重要なデータは、必ず他のデバイスにバックアップしてください。メモリーカード上のデータは上書きや消去される場合があります。
- ⚠ メモリーカードは、清潔な乾燥した涼しい場所で保管してください。

GPSなどについて

- ⚠ GPSなどの電波が受信できない場所では、自車位置および自車速度を記録することはできません。
- ⚠ GPSなどの電波は、周囲の状況や地理的要因によって受信しにくい場合や受信できない場合があります。
- ⚠ GPS衛星は米国国防省によって管理されており、故意に精度が変更されることなどがあります。
- ⚠ 本製品の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機などを設置しないでください。それらの機器や本製品が誤作動を起こす可能性があります。
- ⚠ テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- ⚠ 周囲に障害となる物を設置しないでください。GPSなどの電波受信に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- ⚠ 電源起動時はGPSなどの電波を受信するまでに時間がかかります。受信環境、気象条件、車両条件、製品位置により数十秒から数分かかる場合があります。
- ⚠ フロントガラスにコーティングなどが施された車両は、GPSなどの電波を受信しにくい場合があります。

その他

- 🚫 記録した映像やデータは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があつても撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 🚫 ステッカーは、保安基準で貼付可能な位置が定められています。フロントガラスや運転席・助手席のサイドガラスには貼付けないでください。また、強粘着のため塗装面への貼付けにはご注意ください。

保証書

保証規定

1. 保証期間内(お買上げ日より1年間)に、正常なご使用状態において、万一故障した場合には無料で修理または交換いたします。
2. 次のような場合には、保証期間内でも有料修理・交換になります。
 - (イ) 本保証書のご提示がない場合
 - (ロ) 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ハ) お買上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - (二) 外部から水分などの浸入の形跡が見られる場合
 - (ホ) 火災、地震、水害、異常電圧、公害、指定外の使用電源(電圧・周波数)及びその他天災、地変などによる故障及び損傷
 - (ヘ) 本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。ただし、お買上げ日、販売店名はレシートで可
 - (ト) 外観部分の損傷
3. 不正改造車に取付けされた場合は保証対象外です。
4. 製品・部品・付属品を紛失された場合は保証対象外です。
5. 他の人から譲り受けたもの、または再販品に関しては保証対象外です。
6. 修理・交換は、必ず本保証書をご提示の上、お買上げの販売店またはカーメイトサービスセンターにご依頼ください。
7. 本保証書は、再発行いたしませんので、大切に保管してください。
8. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only for service in Japan.

 CAR MATE 株式会社 カーメイト

本社/〒171-0051 東京都豊島区長崎5-33-11 TEL. 03-5926-1212(代表)

保証書

本製品は、厳密なる品質管理および検査を経てお届けしたものです。お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本保証書記載内容によりお買上げの販売店、またはカーメイトサービスセンターが受付いたします。

ダクション 360 S (DC5000)			
お買上げ機種名	年 月 日 <small>※お買上げ日がわかるもの(領収書レシートなど)と一緒に保管してください。</small>	無料修理 保証期間	お買上げ日より 1年間
お 客 様 ご 住 所 ご 芳 名	<input type="text"/> □□□-□□□□	TEL. □□□-□□□□	様 印
販売店名住所	<input type="text"/> □□□-□□□□	TEL. 印	
故障データ	取付車種: グレード: 年式:		
	症状:		

ご愛用者登録をして
アンケートに答えると
抽選でプレゼントが当たる!

詳しくはWEBサイトをご覧ください。
パソコン:
<http://www.carmate.co.jp/club/>
携帯スマートフォン:
<http://mobile.carmate.co.jp/>



カメラ
品番:
DC5000

DC5000 d'Action360^S 取付けガイド

スマートフォン
専用アプリはこちら

iOS



Android

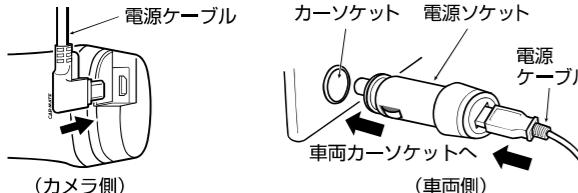
- 必ず使用前に本紙をよく読み、保管してください。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- 本製品の誤った取扱いや改造した場合での事故について、当社はその責任を一切負いません。

-1-

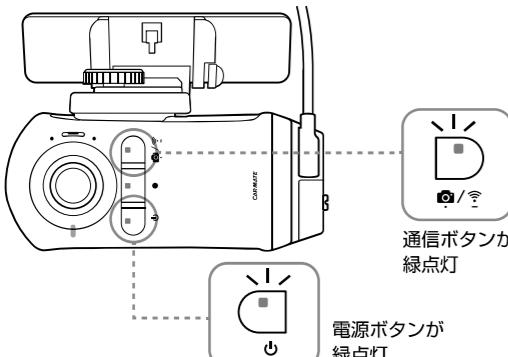
4. 電源ケーブルを車両とカメラにそれぞれ接続する

※駐車監視オプションを取り付ける場合は、駐車監視ユニットを先に取付け・配線してください。

※専用設計のため、必ず付属のケーブルおよびソケットをご使用ください。



5. エンジンをかけ、電源ボタンと通信ボタンが点灯することを確認する



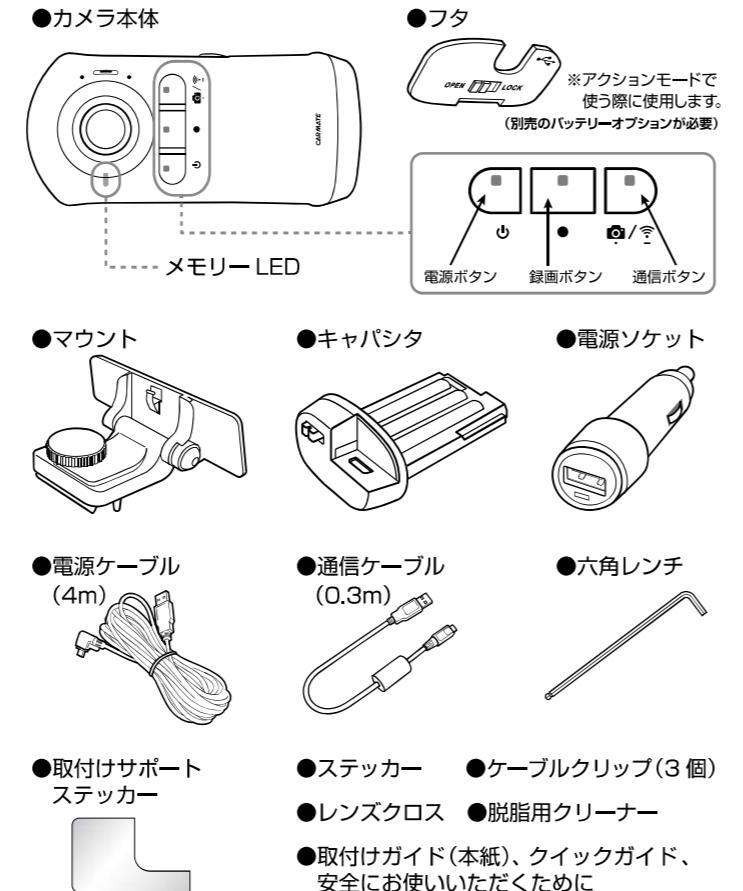
6. スマートフォンと接続する

→裏面の「スマートフォン接続手順」手順参照

7. 専用アプリを起動し、リアルタイムビュー映像を表示する

-5-

1. セット内容

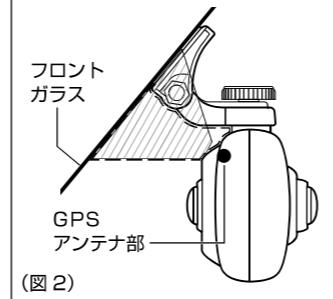


-2-

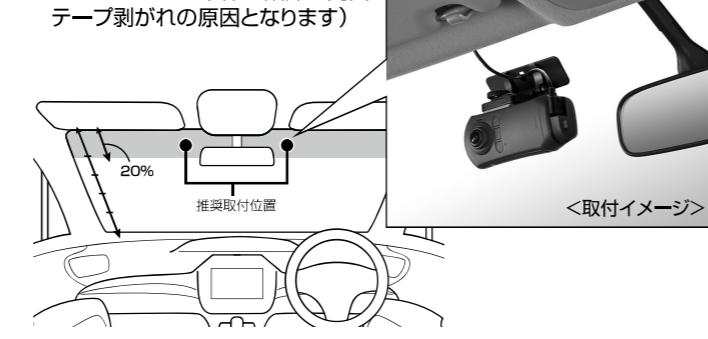
8. 取付位置の条件を確認する

下記項目を全て満たすように取付け・取回し位置を確認してください。

- フロントガラスの上部20%の範囲内に入ること(図1)
- 運転時の視界や操作を妨げないこと
- ルームミラーやエアバッグの動作を妨げないこと
- カメラのレンズがワイパーの拭取り範囲内に入ること
- ガラスにプリントされている熱線やアンテナ、ほかしなど表面に凹凸がある部分を避けてマウントを貼付すること
- 安全運転支援システムなどのカメラを装着している場合はその映像範囲内に映りこまないこと
- フロントガラスとGPSアンテナ部の間(図2の斜線部)にケーブルや金属物が無いこと
- サンシェード等の日除けを使用する際は、カメラ本体をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないように設置すること(熱がこもりやすく、カメラ本体の故障や画面テープ剥がれの原因となります)



(図1)



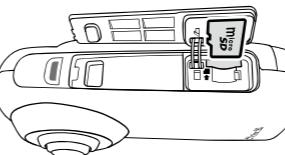
-6-

2. 取付手順

<用意するもの>

- 本製品のセット内容すべて
- 専用 microSD カード (別売 DC3/4/5)

あらかじめカメラを入れておいてください。

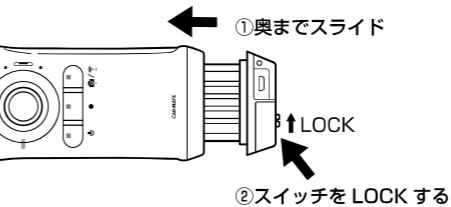


●対応するスマートフォン

あらかじめ専用アプリをインストールしておいてください。



1. キャパシタをセットする



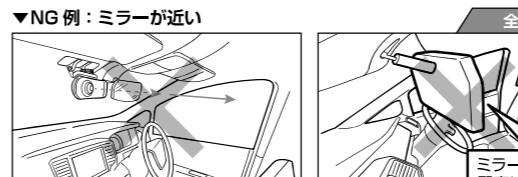
-3-

9. 全天球のリアルタイムビュー映像を見ながら、取付位置・振り角度を確認する



【確認ポイント】

- 画角の妨げになる物の近くに取付けないでください。



▼NG例:ミラーが近い



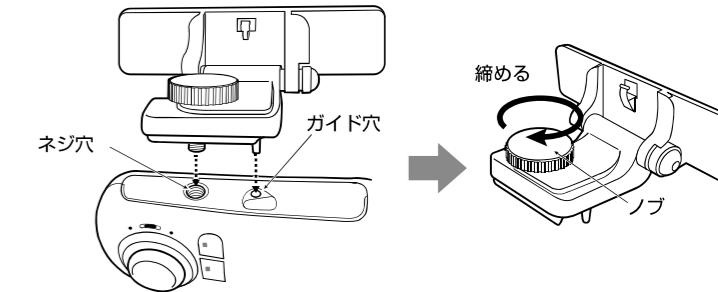
▼OK例:側方の状況がよく見える

-7-

2. マウントを装着する

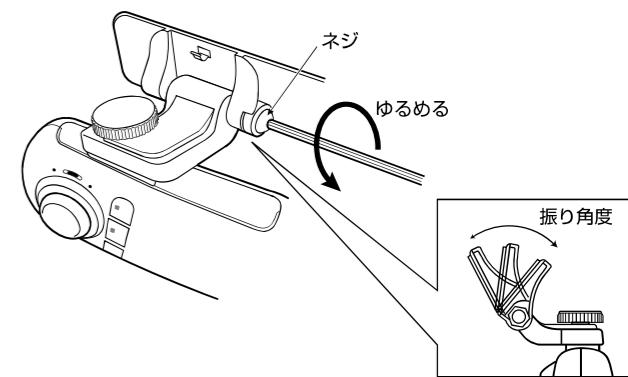
①ネジ穴とガイド穴を合わせる

②ノブを回し、締める



※カメラをマウントから取外す際は、②⇒①の順で行って下さい。

3. 六角レンチを使ってマウントのネジをゆるめ、振り角度を調整できる状態にする

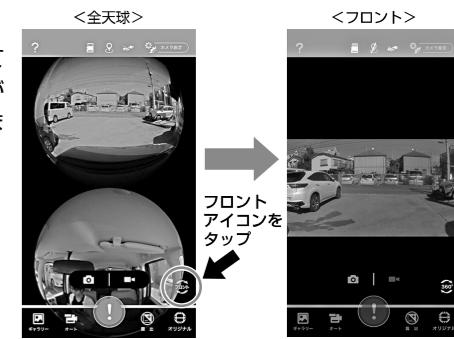


-4-

10. フロントのリアルタイムビュー映像を見ながら、取付位置・振り角度を確認する

△注意

フロント映像を表示している間はすべての録画が停止するため、このまま走行しないで下さい。



【確認ポイント】

- フロント映像で映っている範囲がクリアに記録される範囲です。クリアに記録したい範囲がフロント映像で映っているか確認してください。

▼NG例:映像が傾いている、上を向すぎている



- フロント映像がワイパー拭取り範囲内に入っていること

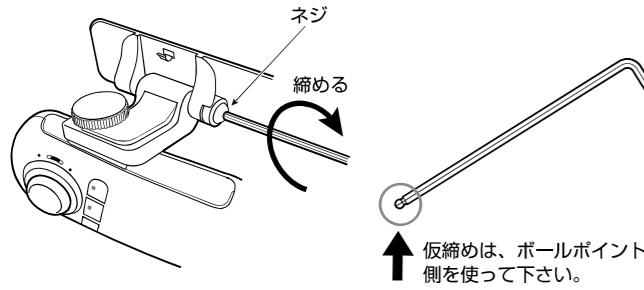
▼NG例:ワイパーの拭取り範囲外



-8-

裏面につづく

11. 振り角度が決まったら、六角レンチでマウントのネジを仮締めする



【ポイント】

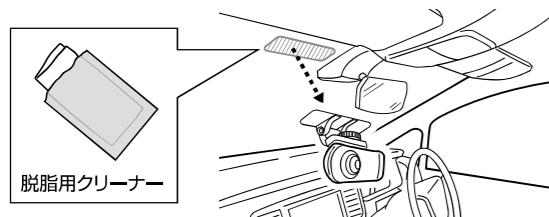
- 取付位置が決まったら、取付けサポートステッカーを使って目印を残しておくことをおすすめします。

マウントの取付位置に合わせてステッカーをフロントガラスに貼付けます。マウント貼付後、ステッカーをはがしてください。

取付け
サポートステッカー

12. 貼付面をきれいにする

付属の脱脂用クリーナーを使用してフロントガラスの汚れや油分をよく拭取り、乾燥させてください。



=9=

2. スマートフォンの「Bluetooth」を OFF にする

スマートフォンの設定画面から、「Bluetooth」を OFF にしてください。OFF することで、無線 LAN の接続が安定しやすくなります。



3. スマートフォンでカメラを検索する

スマートフォンの設定画面から、「Wi-Fi」を ON にしてください。



4. カメラを登録する

dAction360 で始まる SSID を選択し、パスワードを入力してください。



以上で接続手順は完了です。
専用アプリを起動し、接続されているか確認してください。

スマートフォンのスリープ状態などで接続が途切れた場合は、手順 3 に戻り、一度「Wi-Fi」を OFF にしてから再度 ON にして接続してください。

=13=

13. マウントを貼付ける

エンジンを切った後カメラをマウントから一旦取り外し、マウントのみをフロントガラスに貼付けます。

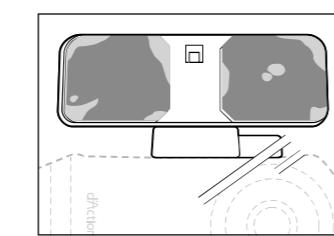
14. マウントをフロントガラスに押付ける

マウントを指で強く押し、両面テープをフロントガラスに密着させます。

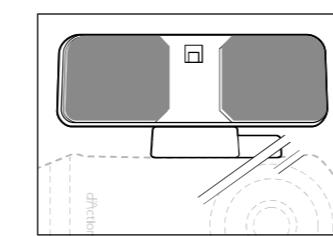
【注意】

マウントを強く押付けた後、両面テープの貼付け面がフロントガラスに均一して密着しているか、車外から見て確認してください。
貼付け面に圧着ムラがある場合は、再度マウントを強く押して密着させてください。

▼NG例：
圧着ムラや気泡が入っている



▼OK例：
均一に密着している



※粘着力を安定させるため、24時間以上放置してください。なお、粘着力が低下するため貼直しはできません。

※極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を温めてから貼付けてください。

※カメラ本体装着前の走行はお控えください。

=10=

15. 六角レンチでマウントを本締めし、配線する



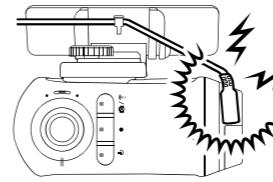
16. カメラをマウントに装着し、電源ケーブルを接続する

マウントフックに電源ケーブルを通し、余裕をもたせた取回しでカメラに接続します。



【注意】

電源ケーブルやカメラのコネクタ部に無理な力が掛からないように取回してください。カメラが正しく動作しなくなるおそれがあります。



17. レンズ部をレンズクロスできれいに拭く

指紋が付いていることが多いので、しっかりと拭取ってください。

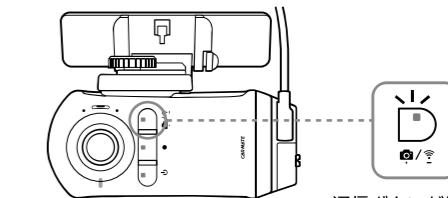
=11=

スマートフォン接続手順

1. カメラの電源を入れ、無線 LAN を ON にする

車内で使う場合

エンジンをかけると自動でカメラの電源が入り、無線 LAN も ON になります。



通信ボタンが緑点灯

車外で使う場合（※）

① ボタンを約3秒以上押し続け、電源を入れます。

② ボタンを長押しします。



通信ボタンが緑点灯

※：別売のバッテリーオプション（DC101）が必要です。バッテリーパックの装着方法は、バッテリーオプションの取扱説明書をご参照ください。

=12=

FAQ

電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源ケーブルや電源ソケットが正しく接続されているか確認してください。 ●付属品以外のケーブルやソケットを使うと正しく動作しません。付属の電源ケーブルや電源ソケットを使っているか確認してください。 ●動作温度範囲（-10~60°C）を超えると、カメラ本体の破損を防ぐため、動作を停止します。動作温度範囲を超えている場合は、カメラ本体を温度範囲に戻してから再度電源を入れてください。 ●一度カメラ本体からキャバシタを抜き、1分程度経ってから再度差込み、電源をONにしてください。
エンジンをかけているのに、電源が切れる	<ul style="list-style-type: none"> ●別売の駐車監視オプション（DC201）などを装着している場合、アースの取付けを確認してください。アースボルトが塗装されている、またはボルトと端子の間に樹脂などを挟み込んでいると正しく電源供給できません。また、オーディオやナビゲーションなど他の電気用品と同じボルトにアース取付けすると、機器が誤作動したり、オーディオ等のメモリーが消失するおそれがあります。
記録される時刻がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> ●各フォルダおよびファイルの作成日時、更新日時は世界標準時刻で記録されます。専用アプリで再生すると、再生端末で設定されたタイムゾーンの日時で表示されます。
スマートフォンで「インターネットがみつかりません」と表示される	<ul style="list-style-type: none"> ●カメラがインターネット接続機能を持っていないため、表示されます。（Android端末など一部の端末では、カメラ接続中は、スマートフォンでインターネットに接続できません。）
スマートフォンで「dAction360」から始まる SSID が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ●カメラ本体の無線LANがON（ ボタンが緑点灯）しているか確認してください。 ●スマートフォンの「Wi-Fi」を一旦切り、再度ONにしてから少々お待ちください。

スマートフォンに接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ●スマートフォンの「Bluetooth」がOFFになっているか確認してください。 ●専用アプリを一旦終了してからスマートフォンの「Wi-Fi」をOFFにした後、再度ONにして接続を確認してください。それでも接続できない場合は、登録したSSIDを削除し、再度「スマートフォン接続手順」の手順1からやり直してください。 ●駐車監視モード中や、パソコンと接続している場合はスマートフォンに接続できません。
----------------	---

エンジンをかけたのに、カメラの無線 LAN が ON にならない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源ケーブルや電源ソケットが正しく接続されているか確認してください。 ●付属品以外のケーブルやソケットを使うと正しく動作しません。付属の電源ケーブルや電源ソケットを使っているか確認してください。 ●駐車監視オプションを装着している場合、DC201（駐車監視オプション）を使用しているか確認してください。DC200は本製品では使用できません。
----------------------------------	---

レンズ横のメモリー LED がオレンジ色点滅している	<ul style="list-style-type: none"> ●スマートフォンを接続し、カメラ本体または専用アプリからメモリーカードのフォーマットを行ってください。（※） ●それでも直らない場合、カメラをリセットしてください。（→別紙クイックガイドのP.16参照）
「SDカードを確認してください」という音声が流れた	<ul style="list-style-type: none"> ●読み書き速度の遅い規格のメモリーカードが差込まれているか、規格表示の無いメモリーカードが差込まれています。専用microSDカード（DC3/4/5）をご使用ください。

「SDカードが見つかりません」という音声が流れた	<ul style="list-style-type: none"> ●メモリーカードが挿入されているか確認してください。
--------------------------	--

●Android、Google Play、Google Playロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。
●iOS商標は、米国Ciscoのライセンスに基づき使用されています。
●Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
●microSD、microSDHC、microSDXCは、SDCard Associationの商標または登録商標です。
●BluetoothはBluetooth SIG, INC.の商標または登録商標です。

製品詳細や各種サポートについては、下記WEBサイトからご確認いただけます。

<https://daction.carmate.jp/>



株式会社 カーメイト <http://www.carmate.co.jp/>
★商品のお問い合わせは… カーメイトサービスセンター
TEL03-5926-1212(代表) FAX03-5926-1218

=14=

=15=

=16=

DC5000 d'Action360^S クイックガイド

スマートフォン
専用アプリはこち
ら



iOS



Android

- 必ず使用前に本紙をよく読み、保管してください。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- 本製品の誤った取扱いや改造した場合での事故について、当社はその責任を一切負いません。

=1=

<録画モード>

①待機
ドライバーが降車する際の振動で録画することを防ぐために、エンジンを切ってから1分間は衝撃を検知しません。

②常時録画モード
駐車常時録画と駐車衝撃録画(前後)を行うモードです。
最大30分間動作します。

③前後録画モード
駐車衝撃録画(前後)のみを行うモードです。
最大16時間動作します。

④後録画モード
駐車衝撃録画(後)のみを行うモードです。
最大2週間動作し、その後カメラの電源はOFFになります。

車両バッテリーに負荷をかけないよう、②と③のモードをスキップすることができます。スマートフォンの専用アプリで、カメラ設定>
 駐車監視モードの「録画モード変更」から変更を行ってください。

<録画種別>

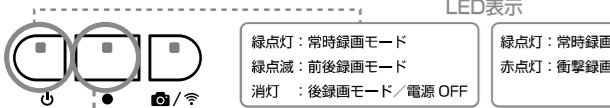
上書き ●常時録画：エンジンをかけてから切るまで録画し続ける

上書き ●駐車衝撃録画(前後)：
駐車中に衝撃検知するとその前後を録画する

上書き ●駐車衝撃録画(後)：
駐車中に衝撃検知するとその後を録画する

上書き フォルダの容量が一杯になると、古いデータから順に上書きされます。

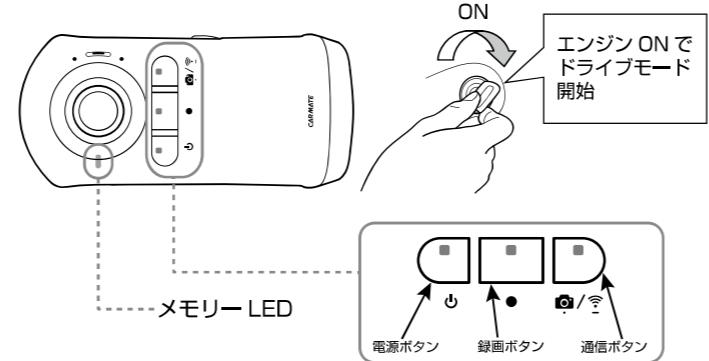
<LEDとボタン>



=5=

【撮り方】[ドライブモード]

車に取付けてドライブレコーダーとして動作するモードです。
エンジンをかけると自動で電源がONになり、常時録画を開始します。



<録画種別>

上書き ●常時録画：エンジンをかけてから切るまで録画し続ける

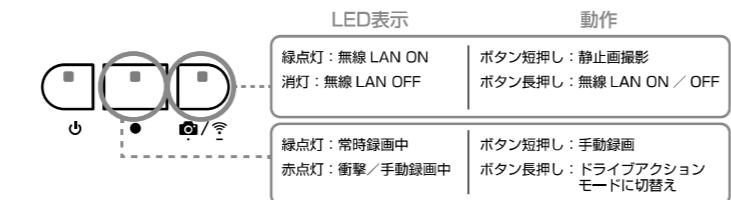
上書き ●衝撃録画：衝撃検知するとその前後を録画する

●手動録画：●ボタンを押すとその前後を録画する

●静止画撮影： / ボタンを押すと静止画を1枚撮る

上書き フォルダの容量が一杯になると、古いデータから順に上書きされます。

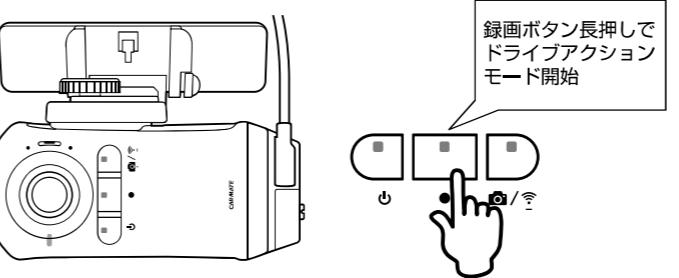
<LEDとボタン>



=2=

【撮り方】[ドライブアクションモード]

車載のビデオカメラとしてサーキット撮影などを楽しむモードです。
ドライブモード時に以下の切替え手順を行うと、ドライブアクションモードに切替わります。



<録画種別>

●手動録画：●ボタンを押してから再度押すまでを録画する

●静止画撮影： / ボタンを押すと静止画を1枚撮る

<LEDとボタン>

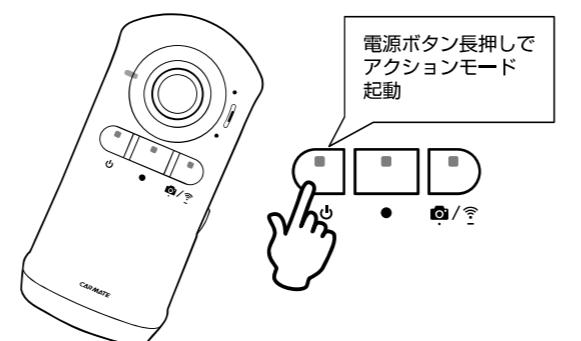


=3=

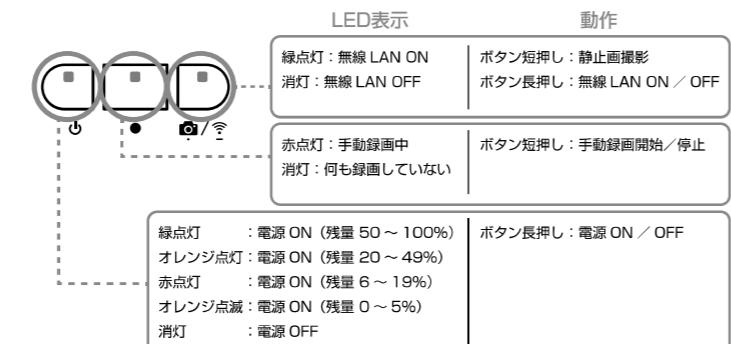
【撮り方】[アクションモード]

*別売のバッテリーオプション(DC101)が必要

車外に持ち出して撮影を楽しむモードです。
マウントから取外し、キャバシタの代わりにバッテリーパックを装着し、電源をONにするとアクションモードで起動します。



<LEDとボタン>

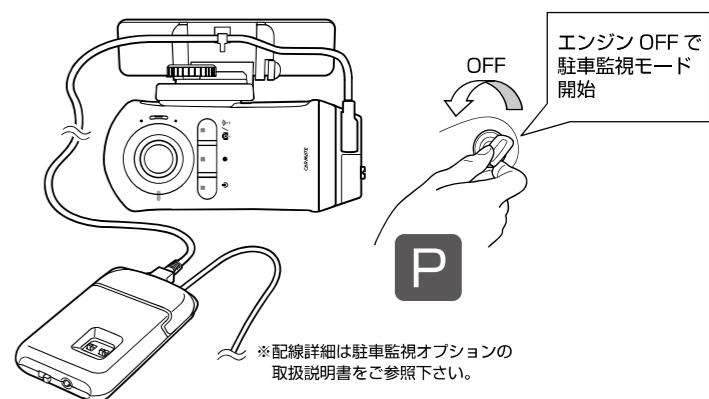


=6=

【撮り方】[駐車監視モード]

*別売の駐車監視オプション(DC201)が必要

エンジンを切っている間、駐車監視カメラとして記録するモードです。
エンジンを切って約1分後から、駐車監視モードを開始します。

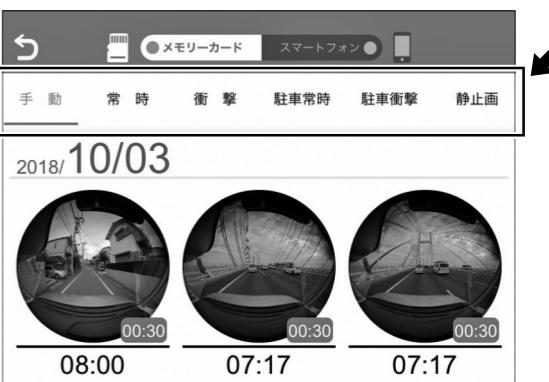


駐車監視モードは下記のように動作します。(詳細はp.5)



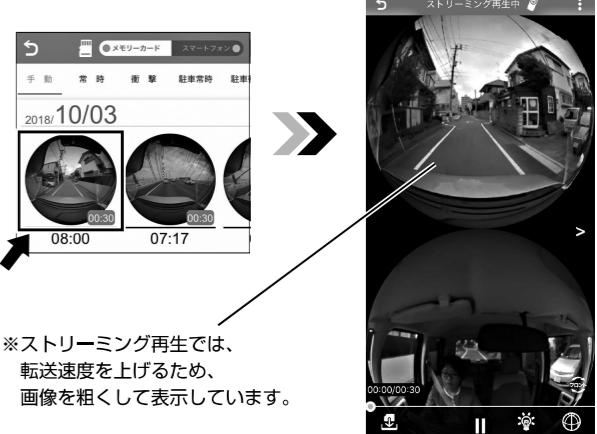
=4=

3. 見たい録画種別をタップする



4. 見たいファイルのサムネイルをタップする。

タップすると、ストリーミング再生(ダウンロードせずに再生)が始まります。

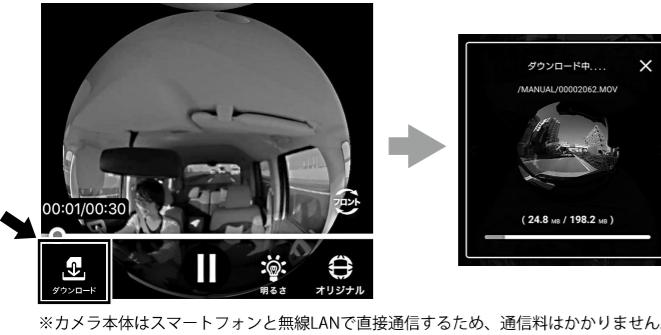


*ストリーミング再生では、
転送速度を上げるために、
画像を粗くして表示しています。

裏面につづく

5. ダウンロードしたいファイルが見つかったら、画面左下の  ボタンをタップする

タップすると、カメラからスマートフォンへファイルをダウンロードが始まります。



6. 「スマートフォン」をタップし、ダウンロード済みファイル一覧を表示する

サムネイルをタップすると、再生が始まります。



 注意 ファイル一覧表示・ストリーミング再生・ダウンロードしている間はすべて録画が停止するため、そのまま走行しないで下さい。

—9—

ファームウェアアップデート方法

仕様変更、機能追加などにより、カメラ本体のファームウェアがアップデートされることがあります。スマートフォンまたはパソコンからアップデートしてください。

スマートフォンから

1. 専用アプリを起動し、アップデート通知があるか確認する



2. カメラとスマートフォンを無線 LAN 接続する

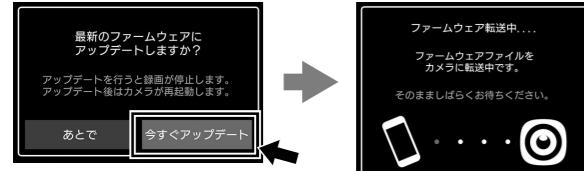
※手順は、別紙「取付けガイド」裏面の「スマートフォン接続手順」をご参照下さい。



3. 専用アプリを起動し、通知の「アップデートする」をタップする



4. 「今すぐアップデート」をタップする

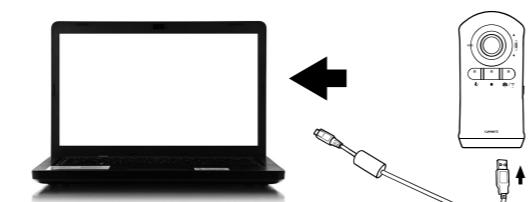


—13—

パソコンから

1. microSD カードを挿したまま、カメラとパソコンを通信ケーブルで接続する

※このとき、カメラにバッテリーパックやキャバシタが装着されたままでパソコンに認識されません。必ず外してからパソコンと接続してください。



2. 専用ソフトを起動し、再生したいファイルが入っているフォルダを選択する

専用ソフトは下記 WEB サイトよりダウンロードしてください。

<https://daction.carmate.jp/>

3. 専用アプリの画面に従って、再生したいファイルを選択し、再生する



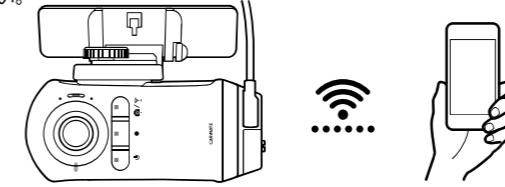
—10—

リアルタイムビューの確認方法

カメラのリアルタイムビュー映像を、スマートフォンから確認できます。

1. カメラとスマートフォンを無線 LAN 接続する

※手順は、別紙「取付けガイド」裏面の「スマートフォン接続手順」をご参照ください。



2. 専用アプリを起動する



 注意 フロント映像を表示している間はすべて録画が停止するため、そのまま走行しないで下さい。

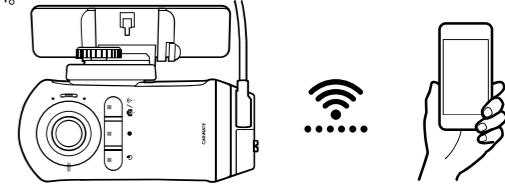
—11—

カメラの設定変更方法

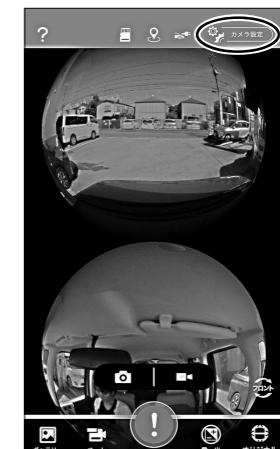
衝撃検知感度など、カメラの設定をスマートフォンから変更できます。

1. カメラとスマートフォンを無線 LAN 接続する

※手順は、別紙「取付けガイド」裏面の「スマートフォン接続手順」をご参照ください。



2. 専用アプリを起動し、右上の  カメラ設定 ボタンをタップし、設定したい項目をタップする



 注意 カメラ設定画面にしている間はすべて録画が停止するため、そのまま走行しないで下さい。

—12—



ファームウェアアップデート方法

仕様変更、機能追加などにより、カメラ本体のファームウェアがアップデートされることがあります。スマートフォンまたはパソコンからアップデートしてください。

スマートフォンから

1. 専用アプリを起動し、アップデート通知があるか確認する

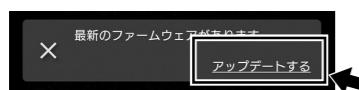


2. カメラとスマートフォンを無線 LAN 接続する

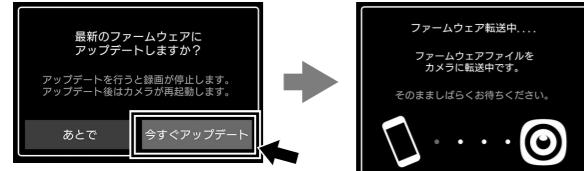
※手順は、別紙「取付けガイド」裏面の「スマートフォン接続手順」をご参照下さい。



3. 専用アプリを起動し、通知の「アップデートする」をタップする



4. 「今すぐアップデート」をタップする



—13—

パソコンから

1. 下記 WEB サイトより、最新のファームウェアファイルをダウンロードする

<https://daction.carmate.jp/>

2. ダウンロードされたファイル (zip 形式) を解凍する

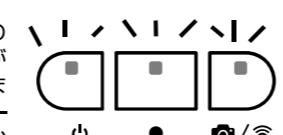
3. 通信ケーブルを使ってカメラを直接接続するか、市販のカードリーダーなどを使って、メモリーカードとパソコンを接続する

4. 手順2で解凍したファイル (firmware.bin) を、メモリーカードの「FIRMWARE」フォルダに移動 (コピー) する

5. ファイルの移動が完了したら、通信ケーブルを取り外す、またはメモリーカードを取出してカメラ本体に戻してください。

6. ドライブ／ドライブアクション／アクションモードのいずれかのモードでカメラを起動する

 注意 アップデート操作をすると、3つのボタンが赤点滅した後にカメラが再起動します。カメラが完全に起動するまでは、電源の切断・ボタン操作・メモリーカードの挿入／取出しは行わないでください。



起動してもアップデート（赤点滅）が開始されないと

●赤点滅せずに通常起動したとき

→すでに最新のファームウェアに更新されている可能性があります。スマートフォンアプリの「カメラ設定」>「カメラのファームウェア」の項目からバージョンを確認してください。

●ボタンが緑点灯していないとき

→バッテリー残量が不十分です。バッテリーパックを充電し、はじめからやり直してください。

●バッテリー切れなどで途中でアップデートに失敗したとき

→バッテリーパックを充電し、はじめからやり直してください。

—14—

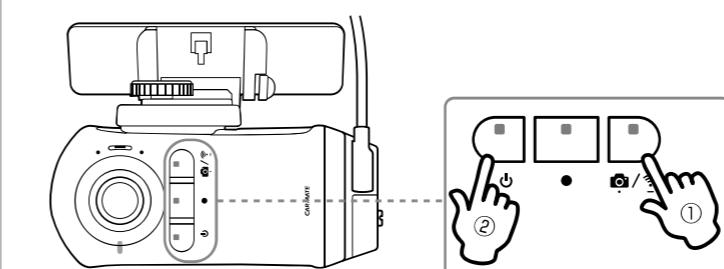
フォーマット方法

メモリーカードのフォーマットを行います。カメラから「フォーマットしてください」という音声が流れた場合は、カメラ本体またはスマートフォンアプリでフォーマットしてください。

カメラ本体でのフォーマット方法

ドライブ／アクションモードでカメラを起動し、 /  ボタンを押しながら (①)、 ボタンを 10 回短押し (②) してください。

※録画 LED が赤点灯しているときはフォーマットできません。



スマートフォンでのフォーマット方法

カメラとスマートフォンを無線 LAN 接続し、専用アプリのカメラ設定画面から「メモリーカードフォーマット」を選択してください。

注意

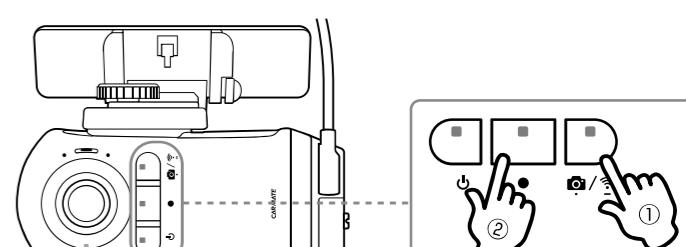
メモリーカードをフォーマットすると、すべてのデータが消去されます。必要なデータはあらかじめパソコンなどにバックアップをとっておいてください。

—15—

リセット方法

すべての設定値が初期化されます。

ドライブ／ドライブアクション／アクションモードでカメラを起動し、 /  ボタンを押しながら (①) がら ● ボタンを 5 回短押し (②) してください。



注意

リセット操作をすると、すべてのボタンがオレンジ点滅した後にカメラが再起動します。カメラが完全に起動するまでは、電源の切断・ボタン操作・メモリーカードの挿入／取出しは行わないでください。

株式会社 **カーメイト** 〒171-0051 東京都豊島区長崎5-33-11
★商品のお問い合わせは… カーメイトサービスセンター
TEL03-5926-1212(代表) FAX03-5926-1218

—16—